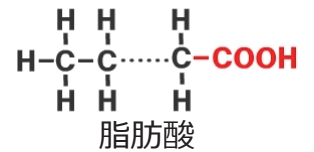


カチオン系ソープ用 MC ドライキャッチャー (脂肪酸除去剤)



ドライクリーニングにおいて、洗浄中に発生してくる**脂肪酸**は悪臭の原因にもなり、また溶剤の着色やフィルターが目詰まりの原因にもなり、ドライクリーニングの最大の問題点でした。

ドライクリーニングで洗浄性を追求しても溶剤の汚れがひどければ、より悪いものとなってしまいます。(異臭や逆汚染の発生)
蒸留装置を使用しても、脂肪酸は溶剤と共に蒸留され、新液に戻ってきます。(特に沸点の高い石油系溶剤)



エレメントの中の脱酸剤(アルミナ等)で、対応するしか方法はありませんでしたが ...



【MC ドライキャッチャーとは ...】

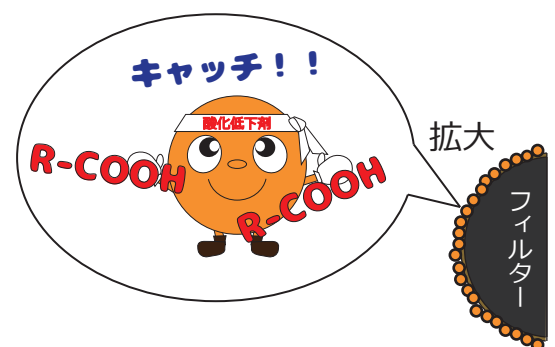
MC ドライキャッチャーは、ドライクリーニング洗浄において発生してくる脂肪酸をキャッチし、フィルターの表面に付着して除去します。

付着した脂肪酸はパサパサの脂肪酸反応物となるため、フィルター圧を上げることはありません。

また、フィルターの効果は脂肪酸がフィルター外で除去されるため、20%~50%長持ちします。

(使用状況により異なります)

脂肪酸の除去により石油溶剤の着色はおさえられ、また溶剤のにごりもなくなり脂肪酸特有の臭いなくなります。



カーボンフィルターもほとんど不必要となります。

【使用方法】

- ① MC-ドライキャッチャーを、ドライ機の大きさに合わせてドラムに投入して下さい。

ドライ機の大きさ	MC-ドライキャッチャー投入量
10kg	25cc
20kg	50cc
22kg	60cc
30kg	75cc

- ② ドライ機を空運転して、溶剤を循環させます。
- ③ 25ワッシャー毎に、ドライ機の大きさに合わせて、ドラムに投入して下さい。

ドライ機の扉を開けると、ドラム内のバルブが開くタイプのドライ機の場合は、タオル等にドライキャッチャーをしみこまして、空運転をして下さい。

MC-ドライキャッチャーを一度に大量に投入すると、フィルター圧が急激に上がる場合がありますので投入量は、規定の投入量を守って下さい。

*フィルターの持続は、(20%~50%)ドライソープの投入量、被洗物の汚れ具合、前処理などの使用量で変化します。

注意

MC-ドライキャッチャーは、カチオン系のドライソープを使用しないと効果がありません。
アニオン系のドライソープには、使用できません。
石油系、パークロエチレンの溶剤に使用可。
(フッ素系溶剤は、沸点が低いため脂肪酸は、蒸留時に除去されます)



松井化学株式会社

Matsui Chemical Co.,Ltd

所在地：〒661-0026 兵庫県尼崎市水堂町 3-4-3

Tel : 06-6438-7305 Fax : 06-6438-4795

URL : <https://matsuikagaku.jp/>